

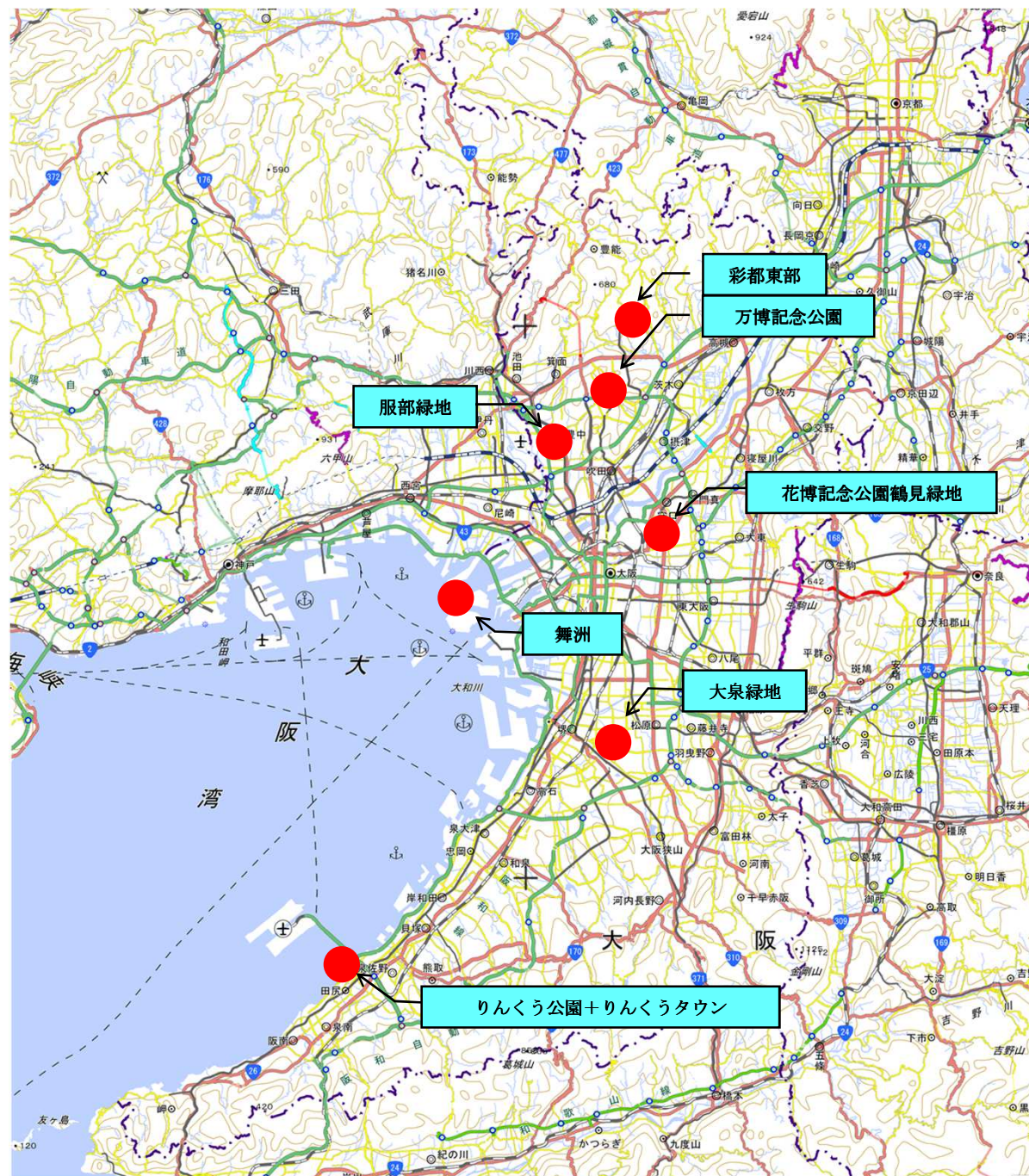
§ 1 例示の考え方

国際博覧会開催可能地(可能性)の例示について

項目	例示のポイント	
1. 会場用地の確保 (100ha以上)	<ul style="list-style-type: none"> ■開催規模にあった用地が確保できるか 	
2. 交通基盤	空港アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ■関西国際空港や大阪国際空港とのアクセス良好さ
	鉄 道	<ul style="list-style-type: none"> ■アクセス手段としての鉄道の状況(既存の交通基盤施設があるか) <ul style="list-style-type: none"> ・利用可能路線数 ・輸送力(列車本数、混雑状況) ・シャトルバス輸送の可能性
	道 路	<ul style="list-style-type: none"> ■アクセス手段としての道路の状況(既存の交通基盤施設があるか) <ul style="list-style-type: none"> ・利用可能高速道路等の有無 ・アクセス道路として利用可能な既存道路の有無 ・現況交通量(混雑状況) ・駐車場台数
	海 上	<ul style="list-style-type: none"> ■アクセス手段としての海上の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・海上アクセス利用の可能性

【国際博覧会開催可能地(可能性)の例示】

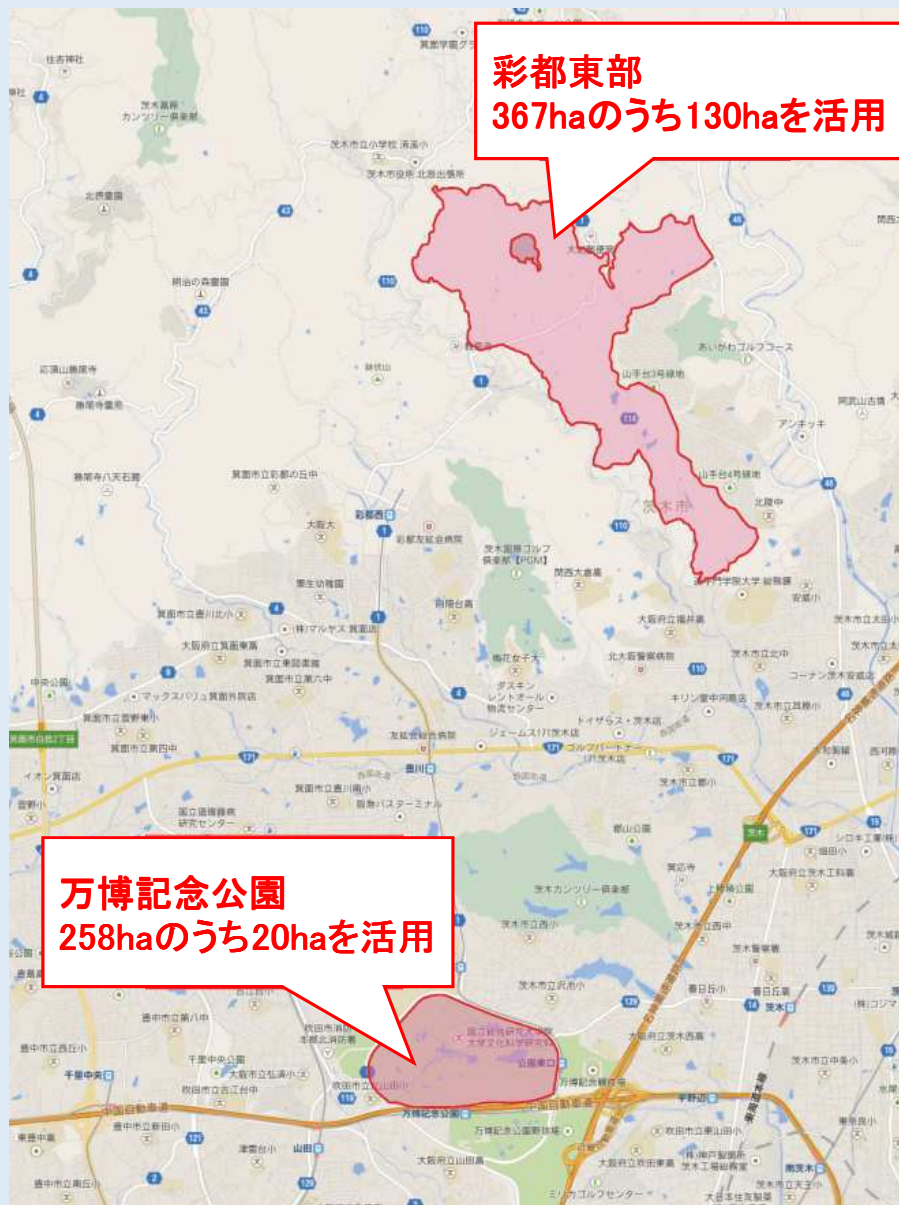
§ 2 国際博覧会開催可能地の例示場所



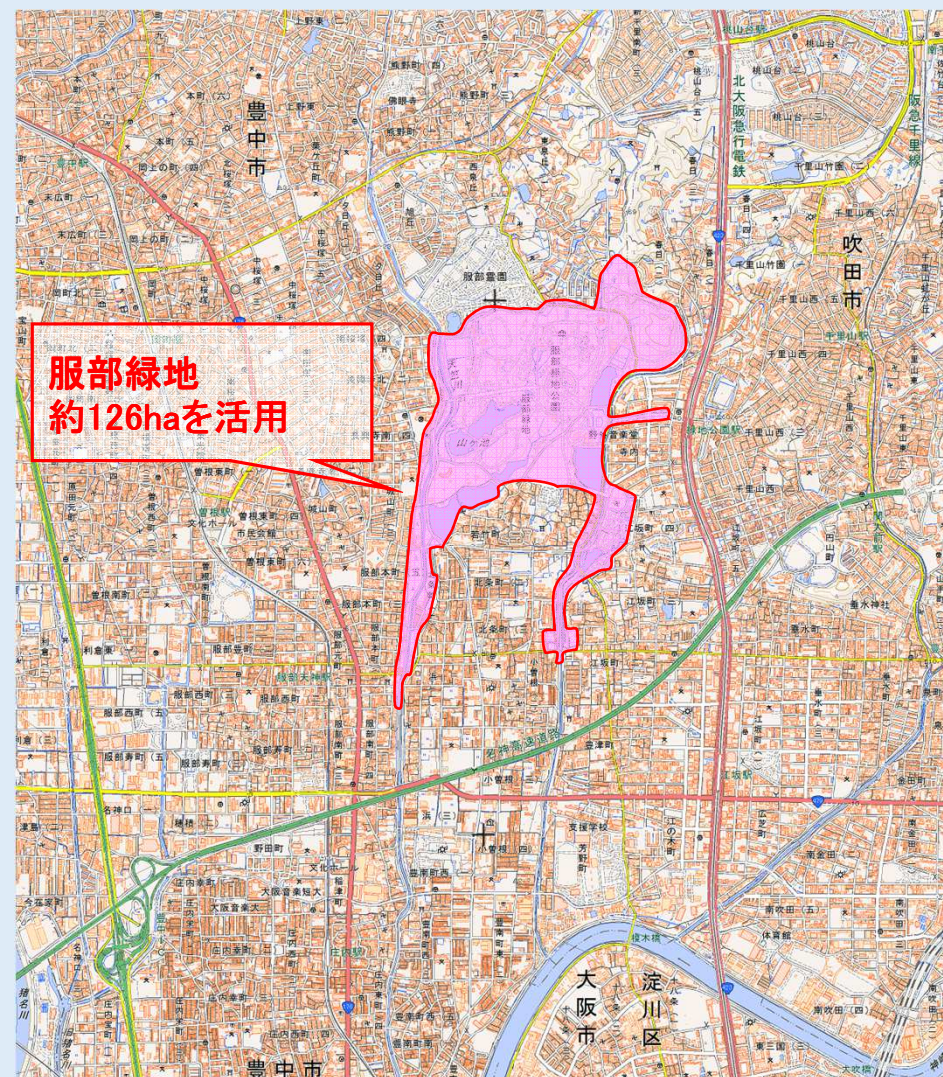
【国際博覧会開催可能地(可能性)の例示】

§ 2 国際博覧会開催可能地の例示場所

彩都東部 + 万博記念公園



服部緑地



出典：2025 年における国際博覧会大阪開催の可能性検討のための調査結果
(平成26年12月)大阪府

【国際博覧会開催可能地(可能性)の例示】

§ 2 国際博覧会開催可能地の例示場所

花博記念公園【鶴見緑地】



出典：2025年における国際博覧会大阪開催の可能性検討のための調査結果
(平成26年12月)大阪府

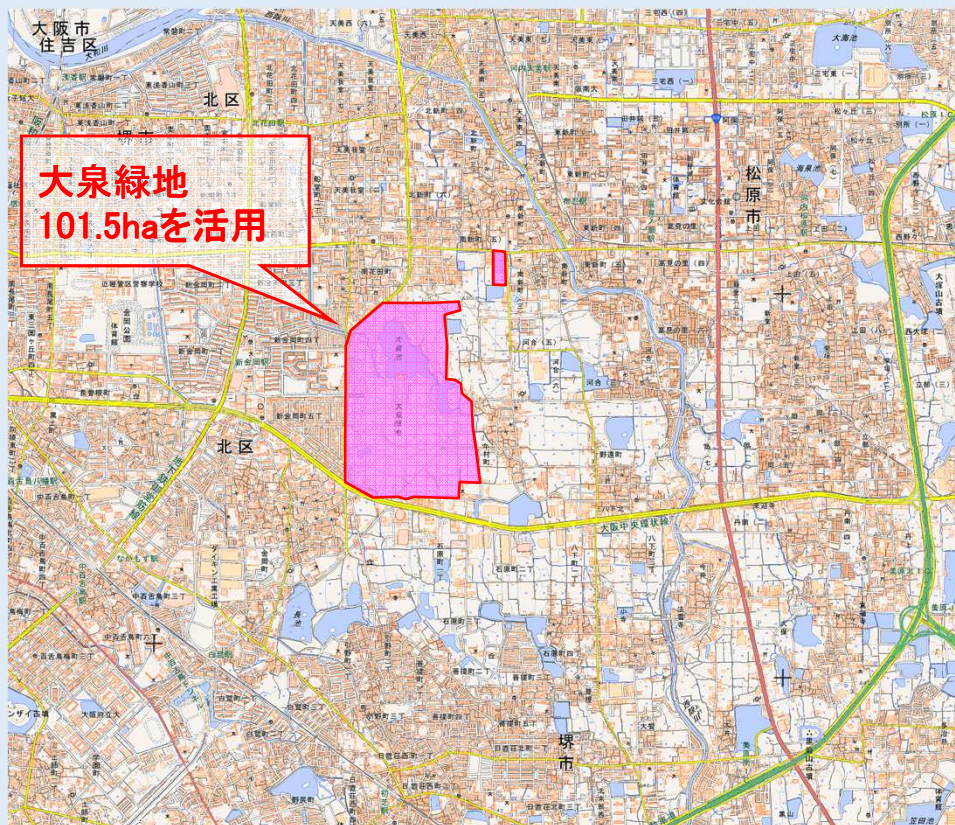
舞洲



【国際博覧会開催可能地(可能性)の例示】

§ 2 国際博覧会開催可能地の例示場所

大泉緑地



りんくう公園+りんくうタウン



出典: 2025 年における国際博覧会大阪開催の可能性検討のための調査結果
(平成26年12月)大阪府

【国際博覧会開催可能地(可能性)の例示】

§ 3 国際博覧会開催可能地の例示

項目	北部エリア		中部エリア	中部ベイエリア	南部エリア			
	彩都東部(+万博記念公園)		服部緑地	花博記念公園 鶴見緑地	舞洲	大泉緑地	りんくう公園 + りんくうタウン	
1. 会場用地の確保	367haのうち130ha (地区内の72haで土地区画整理事業中)	258haのうち20ha (太陽の塔周辺)	126ha (公園開設済)	118ha (公園開設済)	138ha (開発済)	101.5ha (公園開設済)	138ha (りんくうタウン、りんくう公園とも開発済 りんくう公園は敷地が細長く不整形→会場計画に工夫が必要と思われる)	
2. 交通基盤	空港アクセス	■鉄道、幹線道路が未整備で 関西国際空港、大阪国際空港ともアクセスが不便と思われる	■鉄道、幹線道路が整備され、大阪国際空港からのアクセス良好	■鉄道、幹線道路が整備されているが、 関西国際空港、大阪国際空港ともアクセスが不便と思われる	■幹線道路(阪高湾岸線)が直結し、関西国際空港からのアクセス良好	■幹線道路が整備され、関西国際空港からのアクセス良好	■関西国際空港対岸にあり、鉄道、幹線道路とも関西空港連絡橋で直結し、アクセス良好	
	鉄道	アクセス:4路線 ・大阪モルル彩都線 ・JR東海道本線 ・北大阪急行南北線 ・阪急京都線 1路線集中を避け分散可能 4路線とも会場直通不可→シャトルバス輸送が必要と思われる	アクセス:4路線 うち 会場直結2路線 ・大阪モルル本線 ・大阪モルル彩都線 ・北大阪急行南北線 ・阪急千里線 1駅集中を避け分散可能 2路線は会場直通不可→路線バスへの乗り継ぎが必要と思われる	アクセス:2路線 うち 会場直結1路線 と1.6km西に1路線 ・北大阪急行南北線 ・阪急千里線 集中を避け分散可能 ※両路線とも最混雑時混雑率が100%を超えると思われることから輸送力不足に対する検討が必要 ※両路線とも駅～会場間は徒歩	アクセス:6路線 うち 会場直結1路線 ・地下鉄長堀鶴見緑地線 ・JR大阪環状線 ・JR片町線 ・JR東西線 ・京阪本線 ・大阪モノレール本線 1路線集中を避け分散可能 5路線は会場直通不可→シャトルバス輸送が必要と思われる	アクセス:5路線 ・JR桜島線 ・JR大阪環状線 ・阪神なんば線 ・地下鉄中央線 ・ニュートラム 1路線集中を避け分散可能 5路線とも会場直通不可→シャトルバス輸送が必要と思われる ※鉄道利用来場者数がJR桜島線最大輸送量を上回ることが想定されることから、輸送力不足に対する検討が必要	アクセス:5路線 うち 会場直結1路線 ・地下鉄御堂筋線 ・JR阪和線 ・南海本線線 ・南海高野線 ・近鉄南大阪線 1路線集中を避け分散可能 4路線は会場直通不可→シャトルバス輸送が必要と思われる	アクセス:2路線 2路線とも会場直結 ・南海空港線 ・JR関西空港線 ※2路線であるが線路共用のため実質1路線で分散不可→過度の集中を避けるため、1路線になる手前の駅からシャトルバス輸送が必要と思われる
	道路	既存高速道路等最寄I.C.:3路線2箇所 工事中:1路線3箇所 一般道は国道、府道でアクセス可能 ※駐車場確保のための検討が必要と思われる 想定必要台数10,600台 <現状台数0台	既存高速道路等最寄I.C.:3路線1箇所 一般道は国道、府道でアクセス可能 ※駐車場 現状4,443台(彩都東部との組合せ開催で増設なし)	既存高速道路等最寄I.C.:2路線4箇所 一般道は国道、府道でアクセス可能 ※国道176号一部区間と西宮豊中線が混雑 ※駐車場のための検討が必要と思われる 想定必要台数10,600台 <現状台数909台	既存高速道路等最寄I.C.:3路線4箇所 一般道は国道、府道でアクセス可能 ※駐車場のための検討が必要と思われる 想定必要台数10,600台 <現状台数2,133台	既存高速道路等最寄I.C.:3路線2箇所 工事中:1路線3箇所 一般道は国道、府道でアクセス可能 ※現状混雑なし ※駐車場のための検討が必要と思われる 想定必要台数10,600台 <現状台数2,722台	既存高速道路等最寄I.C.:3路線4箇所 一般道は国道、府道でアクセス可能 ※国道309、310号、大阪中央環状線、大阪和泉南線の一部区間が混雑 ※駐車場のための検討が必要と思われる 想定必要台数10,600台 <現状台数787台	既存高速道路等最寄I.C.:3路線5箇所 一般道は国道、府道でアクセス可能 ※駐車場のための検討が必要と思われる 想定必要台数10,600台 <現状台数133台
	海上	-	-	-	-	シーサイト「プロムナード」に発着場整備で可能性あり (天保山、USJ、南港、大阪都心部、関西、神戸空港等との水上バス等)	-	りんくう公園に発着場整備で可能性あり (天保山、USJ、南港、大阪都心部、関西、神戸空港等との水上バス等)